

『芸術科書道』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 書道教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(20名)

使用教科書 「書 I」(教育図書)P.64～P.69(教育図書)

別添「書 I プライマリーブック」P.32～P.35

(4) 単 元 名 「仮名を知る」(仮名の書 単元①)

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

これまでに、「書体の変遷」について理解し、「漢字の書」では楷書・行書を中心に五書体を学習しているが、「仮名の書」については今回初めて学習する。

【単元のねらい】

仮名の成立について理解を深め、仮名の基本的な表現技法を習得する。

【児童(生徒)の状況】

大半の生徒は、真面目で意欲的に取り組もうとしており、自分の意見を積極的に発表できる生徒が多い。また、鑑賞の態度もよく生徒同士の相互評価も積極的に行うことができる。

(6) 指導計画(全4時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間) 本時	○単元の目標を確認し、学習の見通しを持つ。 ○仮名の成立について理解する。 ○仮名の基本用筆を習得する。	一斉 グループ 個別	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度
第2次 (2時間)	○「平仮名(いろは)」について理解し、基本用筆を習得する。	一斉 個別	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度
第3次 (1時間)	○「変体仮名」と「連綿」について理解する。	一斉 個別 グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度